

科目名	文学 I Literature I	科目コード	20430
-----	----------------------	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	猪平直人・堀口真利子（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・選択・1単位
開講時期・時間数	後期, 30時間【内訳：講義28, その他2】
教科書	担当者が指示する教材・担当者によるプリント
補助教材	担当者によるプリント
参考書	国語辞典・古語辞典等

【A. 科目の概要と関連性】

担当者の選んだ日本の文芸作品を講読する。担当者による講義と、受講者による発表形式を併用し、文芸作品のより深い鑑賞を通して、日本人の築いてきた伝統的な価値観や、精神性についての理解を深める。

○関連する科目：国語(1～4年)・日本語文化（専攻科1年後期）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①古典文学・現代文学に関する基本的な読解力・鑑賞力を身につける。	35%	(a1)
②日本的・伝統的な思考様式を理解する。	35%	(a1)
③論理的な文章を書く能力と、基本的な口頭発表の能力を身につける。	30%	(b1)

【C. 履修上の注意】

受講者による口頭発表を行う（受講者全員）。市販のテキストを使用する場合は、担当者が支持するので、各自購入すること。

配布されたテキストや教材を事前に読み、予習しておくこと。必要に応じて、国語辞典・古語辞典を持参し、適宜利用すること。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- レポート（60%）
- その他（40%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	ガイダンス・発表形式の確認と発表担当者の決定	
2	近現代文芸作品講読（1）	
3	近現代文芸作品講読（2）	
4	近現代文芸作品講読（3）	
5	近現代文芸作品講読（4）	
6	近現代文芸作品講読（5）	
7	近現代文芸作品講読（6）	
8	近現代文芸作品講読（7）	
9	古典文芸作品講読（1）	
10	古典文芸作品講読（2）	
11	古典文芸作品講読（3）	
12	古典文芸作品講読（4）	
13	古典文芸作品講読（5）	
14	古典文芸作品講読（6）	
15	古典文芸作品講読（7）	